

## 令和4年度 第1回 東近江市市民協働推進委員会 議事録

◆開催日時 令和4年6月28日(火) 午後7:00～午後9:00

◆開催場所 東近江市役所319会議室(新館3階)

◆出席者

市民協働推進委員： 深尾 昌峰、辻 薫、小嶋 一浩、水谷 友彦、園田 由未子、  
綾 康典、富田 由美子、藤澤 彰祐、藤 一道、小島 淳司、  
朝比奈 遥、奥田 新悟、若林 理恵(途中参加)、笠原 健司  
(欠席：小島 秋彦)

事務局：総務部長 西澤/まちづくり協働課 中江、岡崎、西川、松居  
(傍聴者：2人)

◆議事

- 1 正・副委員長の選出について
- 2 委員会の概要と市民協働推進計画について
- 3 わがまち協働大賞について
- 4 昨年度のふりかえりと今年度の検討事項

◆会議録

開会

### 【事務局より開会のあいさつ】

\*初回の会議のため、議事の進行は委員長・副委員長選考まで事務局で行い、その後の進行は委員長にお願いする。

\*総務部長あいさつ

### 【委員それぞれによる自己紹介】

\*本日出席の委員13名がそれぞれ自己紹介する。

その後、事務局4名も自己紹介。

### 【正・副委員長の選出】

委員長・副委員長の選出について、東近江市協働のまちづくり条例施行規則第9条の規定により選出される。委員長に龍谷大学の深尾 昌峰先生、副委員長に社会福祉法人六心会の辻 薫さんが選出される。(全員賛成)

### 【委員長あいさつ】

### 【委員会の概要と市民協働推進計画について】

- ・事務局より、資料1から順に説明。
- ・市民協働推進委員会の概要、これまでの活動内容について資料に基づき説明。
- ・令和6年度に、市民協働推進計画を策定して10年を迎える。今後、市民協働推進委員会において、令和5年度までに見直しを進め、次の計画改定につなげていきたい。

→意見、質問等なし。

### 【わがまち協働大賞について】

- ・資料3に基づき「共に考え、共に創る」わがまち協働大賞の概要を説明。
- ・今後のスケジュールと第1次選考について依頼（資料6）。
- ・事例エントリーへの呼びかけ、協賛についても協力依頼。

#### ● 質疑や意見など

- ・協働の定義は、行政と市民のみなのか。  
→「多様な」とされており、民と民との連携も、協働の一つである。
- ・以前から考えていたが、協働大賞では、「長い間活動している団体」が受賞する傾向にあるように思う。点数表について、どこに重点を置くかを見直すのも良いのでは。
- ・点数表にコメントを書く欄があるが、団体に対する激励コメントなのか、選考理由なのか分かりづらい。欄を分けて記載しても良いと思う。
- ・多くの人に情報がいきわたっていないと、内輪ノリになってしまう。是非情報は広く周知してほしい。
- ・中学生選考など、アプローチは行っていると思う。より生活に溶け込める方法を考えてはいかがだろうか。協賛も可視化の方法の一つ。
- ・活動を継続することは大変なことである。担い手同士の励まし合いがモチベーションアップにつながる。同窓会枠のような形で、同じ団体等が表彰されても良いのでは。
- ・「協働」を意識して活動している団体はいない。わがまち協働大賞は他薦も割と多く、他から言われて初めて「これは協働の取組だったのか」と気づく人も多くいるのではないか。
- ・年々応募団体が少なくなっている。「協働を見つけよう」という形で、拾い上げる仕組みが必要である。先ほどの委員の話にもあったように、長く活動されている団体等だけではなく、「ひがしおうみ大花火大会実行委員会」のように、その時にパワーを出した団体が表彰されても良いと思う。
- ・以前、ある事務局から、他薦があったということで私の会社に話が来た。ヒアリングに連れられ、写真や資料など色々準備したのに落選し、嫌な思いをしたことがあった。わがまち協働大賞も、他薦されたところは何か受賞できるようにしてほしい。
- ・協賛について、これまでの協賛をまとめたリストはあるか。可能であれば、1回協賛して

くれているのにそれ以降協賛されていない理由など分かったら良いのだが・・・

→後日、これまでの協賛をまとめたリストを各委員に送付する。

・わたしも以前は協賛していたが、ある時から声がかからなくなったので、「不要になったのかな。」と思った。事務局から声をかけるのも大事だと思う。

#### 【昨年度のふりかえりと今年度の検討事項】

- ・事務局より、資料4から順に説明。
- ・市民協働推進計画に向けた大きなタスクが始まる。ワークショップなど取入れ、集中して議論したい。

#### ●質疑や意見など

・プロットで視覚化して協働の仕組みを見つけられたら、と思うことはある。先日、別の会議でたまたま横に座った人と話していて、ひょんなことからその人の事業所でうちの商品を利用してもらうことになった。どこに協働のきっかけはあるものか、分からない。

#### 【意見交換（今年度の取組に向けて）】

- ・「市民協働推進計画」は、行政が作るものなのか。市民と共に作るものなのか。
- 行政が示すものではなく、手助けになるものと考えている。
- ・産前ケアラーが周りに余りない。ファミサポをつなぐ仕組みがあれば・・・そういうことも協働でできればと思う。間に入ることで、解決になることもある。
  - ・子どもたちをまちづくりにどう反映させるか、ヤングケアラーの問題もある。
  - ・コミュニティスクールの取組を昨年からは始めている。いかに地域を巻き込むかということに重きを置いている。モデル校として、令和3年度に2校取り組んでおり、令和4年度に2校取組予定である。ある小学校では、97%が特定の団地の子どもたちだが、過去に自治会長へ探検やまちの話をしてほしいと依頼に行ったところ、初期は拒否反応を示す人がおり、大変ショックだった。現在では10,000人中2%が不登校といわれており、教育と福祉は切っても切れない関係にある。

#### 【事務連絡】

- ・次回（第2回）開催は、9月13日（火）午後7時から。
- ・第3回は11月1日（火）午後7時から。

閉会